

有機フッ素化合物 (PFAS) の法規制について



PFAS (ピーファス) はペルフルオロアルキル化合物およびポリフルオロアルキル化合物のことで、4700 種類以上の人工的に合成された有機フッ素化合物群の総称です。

PFAS は耐水性、耐脂性、防汚性などに優れた特性を持つため、コーティング剤、界面活性剤、表面処理剤など様々な用途に使用されてきました。しかし、PFAS は難分解性及び生物蓄積があるため問題視され、欧米を中心に規制強化の動きが進みました。

【PFAS に関する国際条約や各国の規制について*】

2022 年 2 月時点

		有機フッ素化合物 (PFAS)						
		PFOS	PFOA	PFHxS	PFCAs	PFHxA	PFBS	全 PFAS
国際条約	POPs 条約	2009 年 付属書 B	2019 年 付属書 A	2022 年 審議予定 (付属書 A)	2022 年 POPRC で審査 (C9-C21)	-	-	-
欧州	REACH 高懸念物質 (SVHC)	-	2013 年 SVHC 追加	2017 年 SVHC 追加	2012 年 (C11-C14) 2015 年 (C9) 2017 年 (C10) SVHC 追加	-	2020 年 SVHC 追加	-
欧州	REACH 制限物質 (付属書 XVII)	-	-	提案中	2023 年 2 月 施行予定 (C9-C14)	提案中	-	提案予定
米国	TSCA	2002 年 SNUR 追加	2020 年 SNUR 追加	2007 年 SNUR 追加	2020 年 SNUR 追加 (C7-C20)	-	-	2021 年 規則案公表
日本	化審法	2010 年 第一種特定 化学物質指定	2021 年 第一種特定 化学物質指定	2022 年以降 POPs 追加後 審議予定	-	-	-	-
日本	水道水質 基準	2020 年 PFOS と PFOA の合算値として 水質管理目設定項目に追加		2021 年 要検討項目に 追加	-	-	-	-
日本	水質汚濁 防止法	2020 年 PFOS と PFOA の合算値として 人の健康の保護に関する 要監視項目に追加		2021 年 要調査項目に 追加	-	-	-	-

※表中に記載のない国や法令によっても PFAS が規制されています。また、表中に記載のない PFAS についても規制されている場合があります。詳細は各法令等でご確認下さい。

表中の詳しい内容や PFAS の用途などについてまとめたものを小冊子として発行しています。ご希望の方は[当社ホームページ](#)又は右の QR コードより申し込み下さい。

小冊子申し込み



詳しくは、当社 営業担当 又は 分析担当者 **佐藤 (亮)**、**長谷川 (フリーダイヤル 0120-01-2590 内線 382、330)** まで、お気軽にお問い合わせください。右の QR コードからも問い合わせできます。

お問い合わせフォーム



■事業内容■

- ①環境管理に伴う調査・測定・化学分析
- ②ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定
- ③水道法第 20 条に基づく水質検査
- ④製品開発・品質管理に伴う化学分析
- ⑤アスベスト分析
- ⑥絶縁油中の PCB 分析
- ⑦労働衛生管理に伴う作業環境測定
- ⑧土壤汚染対策法に基づく土壤汚染状況調査

